

2019年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2019年4月16日(火)18:00~18:58

場所: 聖路加国際大学 2号館2階 メディアルーム

議長: 片岡 弥恵子(委員長)

出席委員: 片岡 弥恵子、鈴木 美穂、鶴若 麻理、小野 若菜子、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子、
青木 美紀子、大久保 暢子、川上 千春、小山田 恭子、中田 諭、木下 康仁、竹森 志穂、蛭田 明子、
中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員: なし

(出席者 20人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項: 新規申請(本審査)

① 海老原 樹恵(基礎看護学 博士)

「ジョイント・クライスプランの支援を通じた統合失調症患者と専門職との相互作用のプロセス
—専門職の体験に焦点を当てたモデル構築型事例研究—」

研究責任者(海老原氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項: その他の本審査

事務局より、添付資料の通り実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

3. 報告事項: 新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、添付資料の通り報告された。

4. 報告事項: 既承認研究の軽微な変更・その他の報告

既に承認されている研究について、添付資料の通り報告された。

5. 委員長からの報告、連絡事項、検討事項

① 実践報告研究や学部生の卒論研究において、実践・実施後に研究倫理審査委員会へ申請があった件について報告がされた。今後、事後的な申請については受付ない方針となった。

② 今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

6. 事務局からの報告、連絡事項

① 誓約書の提出について連絡がされた。

② 委員会ファイルが配布され、配布書類に関して説明がされた。

③ 倫理教育(委員コース)について連絡がされた。

④ 2号館への入館方法について案内がされた。

7. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2019年5月21日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。

1.新規申請(本審査)(2019/4/16審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	審査区分	判定
本審査	19-A003	ジョイント・クライシスプランの支援を通じた統合失調症患者と専門職との相互作用のプロセス—専門職の体験に焦点を当てたモデル構築型事例研究—	【大学】基礎看護学	博士後期課程	海老原 樹恵	本審査 (鶴若/ 青木)	条件付き 承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2019年 4月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

2.審議事項:その他の本審査(2019/4/16審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	審査区分	判定
継続	16-A026	地域在住高齢者とその家族を対象としたライフレビュー実践と混合研究方法による評価	【大学】老年看護学	助教	桑原 良子	本審査	承認
継続	16-A039	看護学の質的研究論文査読ガイドラインと査読者教育プログラムの開発	【大学】精神看護学	教授	萱間 真美	本審査	承認
継続	18-A073	慢性心不全をもつ高齢者が語る病いの経験に関する研究	【大学】在宅看護学	博士	西田 志穂	本審査	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2019年 4月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

3.報告事項:新規申請の承認報告(2019/3/19~2019/4/15審査分)

承認番号	課題名	所属	職名	氏名	審査区分	担当者意見	判定
18-A069	自然分娩・無痛分娩を選択する女性への意思決定エイドの開発と評価	【大学】助産学	博士後期課程	宍戸 恵理	書類 (片岡)	条件付き承認 指摘事項が修正されたので問題無	承認
18-A096	外来で経口抗がん薬治療を受ける高齢者の副作用を予防する多職種連携ケアプロトコールの実装	【大学】がん看護学・緩和ケア	博士後期課程	小山 美樹	書類 (片岡)	条件付き承認 指摘事項が修正されたので問題無	承認
18-A099	急性期失語症患者と家族に対する心理ケアガイドの検討～インタビュー調査を通して～	【大学】看護技術学	准教授	大久保 暢子	迅速 (川上/ 中田)	問題なし	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2019年 4月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

4.報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告(2019/3/19~2019/4/15審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	審査区分	担当者意見	判定
変更申請	16-A037	「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」精神科訪問看護におけるケアマネジメントに関する研究	【大学】精神看護学	教授	萱間 真美	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	16-A057	精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究	【大学】精神看護学	教授	萱間 真美	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	16-A080	精神科訪問看護における当事者のカパリーに関連した体験についての研究	【大学】精神看護学	教授	萱間 真美	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	17-A006	一般不妊治療を受ける女性患者に対する指導管理プログラムの検討	【大学】ウイメンズヘルス	教授	森 明子	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	17-A039	精神科重症患者早期集中支援管理料算定におけるニーズ調査	【大学】精神看護学	教授	萱間 真美	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	17-A071	統合失調症患者の術後ケアを行った精神科病棟の看護師が体験した困難と患者の特徴	【大学】精神看護学	博士後期課程	石井 歩	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	17-A083	退院後の切迫早産妊婦への助産師による訪問看護の実施可能性評価	【大学】助産学	准教授	片岡 弥恵子	書類 (片岡)	問題なし	承認
変更申請	17-A095	難治性統合失調症患者に対する訪問看護のケア内容調査	【大学】精神看護学	助教	福島 鏡	書類 (片岡)	問題なし	承認
終了報告	17-A099	長期(2年以上)の邦人海外勤務者における糖尿病境界型とリスク要因に関する後ろ向きコホート研究	【大学】国際看護学	修士課程	笹山 桐子			
終了報告	18-A009	妊娠・出産に対する態度と胎児ボンディングの関連性における縦断的研究	【大学】助産学	修士課程	山田 路子			
終了報告	18-A023	疾患・治療に関する患者からの質問およびそれに対する精神科看護師の対応の実態	【大学】精神看護学	博士後期課程	根本 友見			
終了報告	18-A029	女性生活困窮者に対して福祉事務所の保健師が行う支援	看護学研究科	修士課程	藤本 尚子			
終了報告	18-A031	NICU看護職者による母子関係に対する支援のプロセス	【大学】小児看護学	修士課程	稲勝 玲			
終了報告	18-A034	看護師等養成所の実習受け入れ施設における実習指導の実態調査	【大学】看護教育学	教授	小山田 恭子			

終了報告	18-A036	香川県の一診療所における 2型糖尿病有病者の食生活	【大学】公衆衛生看護学	修士課程	亀山 未来			
終了報告	18-A037	重度意識障害患者の patient centered careに関する事例研究口	ニューロサイエンス看護学	修士課程	大坪 賢治			
終了報告	18-A041	分娩を取り扱う助産所の開業における障壁—若手助産師のインタビューから—	【大学】助産学	修士課程	鈴木 みどり			
終了報告	18-A042	外来に通院する慢性心不全をもつ高齢者および医療者の薬剤調整に関する認識	【大学】老年看護学	博士後期課程	桑原 良子			
終了報告	18-A043	不登校児童生徒がひきこもりにならない支援とは～不登校経験者による語りから～	【大学】公衆衛生看護学	修士課程	山本 充			
終了報告	18-A045	事業化における産業保健師の技術	【大学】公衆衛生看護学	修士課程	石川 りさ子			
終了報告	18-A052	北海道における道央圏外の病院の看護管理者の継続学習の実態とニーズ	看護管理学	博士後期課程	矢野 祐美子			
終了報告	18-A057	医療系大学学生のライティング支援サービスの利用と要望	【大学】基盤領域	教授	井上 麻未			
終了報告	18-A058	周術期等口腔機能管理料の改訂に伴う術前麻酔科外来での歯科受診と周術期専門的口腔衛生処置の潜在的需要の変化	【大学】周麻酔期看護学	修士課程	梅野 佑紀			
終了報告	18-A069	自然分娩・無痛分娩を選択する女性への意思決定エイドの効果：非ランダム化比較試験	【大学】助産学	博士後期課程	穴戸 恵理			
終了報告	18-A073	慢性心不全をもつ高齢者が語る病いの経験に関する研究	【大学】在宅看護学	博士後期課程	西田 志穂			
終了報告	18-A096	外来で経口抗がん薬治療を受ける高齢者の副作用を予防する多職種連携ケアプロトコルの実装	【大学】がん看護学・緩和ケア	博士後期課程	小山 美樹			

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2019年 4月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子